



古賀 徹 「いつでも、あなたの側に」を常に考えて、番組に臨んでいました。その姿勢はこれからも変わりません。この「おだがいさまFM」で話してきましたが、とても、中途半端な関わり方をしてしまって、申し訳ない気持ちでいっぱいです。放送で、声を出すことはなくなりますが、これから機材や後方支援として、おだがいさまFMを支えていきます。まだまだ、やることはたくさんあります。「少しでも力になれば」とこれからも活動していきます。あなたの側にいさせてください。

神道 裕(みちのくボンガーズ) まだまだ先は長いですが、ボンガーズもこれから、福島で頑張っていきますので、一緒に歩んでいきましょう。今までありがとうございました。



藤原 一裕 一年間お世話になりました。ありがとうございます。木曜日は卒業しますが、引き続きおだがいさまFMには出演させていただき、ほっと一息アホ話をみなさんにお届けできるように修業をつんできますのでこれからもよろしくお願いします!



鈴木 美伸 ビッグパレットふくしまの頃から、携わらせて頂きました。本当にありがとうございました。自分には出来ることは何か、と考えてはじめてパーソナリティーですが、逆に、いっぱい声をかけてもらって元気をもらってしまいました。番組は、ここで卒業ということでなんだか中途半端に関わってしまっているようで申し訳なく思っています。でも、これからも、皆さんとは違った形で繋がっていきたくと思っています。また、どこかでお逢いしましょう。



松本 和也 おだがいさまセンターで仕事をして今まで1年3か月「みなさんの隣に寄り添う事が出来ていたのか」「みなさんに笑顔を届けられたか」と思いながら過ごしていましたが、果たして出来ていたのか心残りがあります。みなさんにまた会いに行きますので、あつた時は今までのようにお話をしてもらえれば嬉しいです。今までありがとうございました。



石田 高治 昨年の11月におだがいさまセンターに勤務してから、町民の皆さんからの笑顔や温かいお言葉に、多くの元気をいただき過ごすことができました。今後は、おだがいさまセンターで培った経験を忘れず、新しい環境の中でもいろいろな方たちと交流をして過ごしたいと思います。本当にありがとうございました。



みんなの広場



鮮やかな春色のマフラー、一足早く春が来たようです。このマフラーを製作したのは、郡山市緑ヶ丘仮設にお住いの坂本 貞子さん、坂本さんは編み物をはじめ、ちぎり絵、つるし飾りなどご自宅にはたくさんの素敵な作品が飾られていました。



- 金子みすずコンサート
 - 日時 4月16日(火) 午後1時00分から
 - 場所 おだがいさまセンター
 - 日時 4月17日(水) 午後1時30分から
 - 場所 下高久応急仮設住宅集会所
 - 問合せ TEL:024-935-3332(おだがいさまセンター)
 - 押し花教室(しおり、ハガキづくり)
 - [おだがいさまセンター]
 - 日時 4月22日(月) 午前10時00分~午後12時00分
 - 参加料 300円
 - 申込み 20名(問合せ先へ)
 - 問合せ TEL:024-935-3332(おだがいさまセンター)
 - 矢内先生の手芸教室(デコスイーツ)
 - [いわき平交流サロン]
 - 日時 4月11日(木) 午前10時30分~午後12時00分
 - 参加料 300円
 - 申込み 申込み制(問合せ先へ)
 - 問合せ TEL:050-3608-2864(いわき平交流サロン)
 - とんぼ玉作り[いわき四倉交流サロン]
 - 日時 4月11日(木) 午前10時00分から
 - 参加料 500円
 - 申込み 先着15名
 - 問合せ TEL:0246-38-4355(いわき四倉交流サロン)
- 絵手紙教室[いわき泉玉露交流サロン]
- 日時 4月18日(木) 午前10時30分から
- 申込み 申込み制(問合せ先へ)
- 問合せ TEL:0246-38-4242(いわき玉露交流サロン)

絆カフェ移転のお知らせ

場所:郡山市昭和2丁目17-2
(ダイヤソニックビルの敷地内、奥側の建物です。駐車場は共用となります。)
3月21日をもって香久池地区での運営を終了し、4月から新天地でスタートしました。今後もどうぞよろしくお願いいたします。



めでやっぺ!

富岡町東日本大震災追悼式・咲くら希望の集い
~2013年3月9日(土)~



参加者全員で黙祷



宮本町議会議長あいさつ



遠藤勝也町長あいさつ

富岡町東日本大震災追悼式

2011年3月11日から2年目を迎える2013年3月11日。富岡町では3日早い3月9日(土)に郡山市の迎賓館グランプラスで「富岡町東日本大震災追悼式・咲くら希望の集い」を開催しました。第1部は、震災で亡くなった町民の御霊を悼み、残された者の努めとして町の復興に一步踏み出すことを祈り、誓いました。追悼の意を込めたキャンドルの灯、ピアノ演奏、詩の朗読の中で参加した400名余りの町民は静かな祈りの時をもちました。



四家昌博さんによるピアノ演奏



朗読「原発難民の詩」より

富岡町生活復興支援おだがいさまセンター
(社会福祉法人富岡町社会福祉協議会内) 場所 福島県郡山市富田町若宮前32(富田仮設住宅内)
電話 024-935-3332 FAX 024-935-3334 制作 バズ・クリエイターズ
ブログ http://odagaisama.com/ ツイッター http://twitter.com/odagaisama QRコードはこちら

富岡町東日本大震災追悼式・咲くら希望の集い第2会場



たくさんの人で賑わう第2会場



作品には手を離れなくて下さい



喫茶でホット一息



富岡をイメージした工房の作品



織りの体験



第2会場では「作品・工房作品展」がありました。震災後のこの2年、いろいろな想いや沢山の涙があったことと思います。その中で生まれた多くの希望の作品は会場を鮮やかに彩ってくれました。工房の素晴らしい作品展示や織り機での実演・体験もあり、また富岡町民ボランティアによる「喫茶つつじ」が皆さんをお迎えしました。作品販売するコーナーもあり賑わう会場は、作品を見て感心する人、コーヒーを飲みながら久しぶりに会った友人と会話をを楽しむ人など沢山の笑顔がありました。



町民の素敵な作品の数々



第1会場第II部 咲くら希望の集い(希望宣言)



遠藤 勝也町長

2011年3月11日、私たちが襲った未曾有の地震・津波・原発事故の災害は、2年を過ぎようとしている現在も、私たちが古里を奪い、私たちの生活を大きく変化させています。

悲しい事、悔しい事、苦しい事が数えきれないほどありますが、悲しみを数えるのではなく、この3月11日を明日に向かって、復興を踏み出す希望の日と考え、生きて命あるもの一人として、しっかり前に進むことを宣言します。



幾橋 和貴さん

2年前3月11日四倉にて地震に遭い、車で海沿いを走っていたところ津波に追われ、死を覚悟しました。かろうじて回避した危機と致しましたが、次の日には富岡町は住める町ではなくなりました。ラジオを聴けば人が死に、原発が爆発し、世界が終ると思えました。しかし、世界は終わらず一つになりました。世界の人々が、日本の皆が、避難している隣の人が痛みを分かち合える幸せを願いました。数えきれないほどの涙も、心の底から湧き上がる笑顔、何もできない悔しさ、あなたへの感謝を、僕たちは知っています。そして今生きています。だからこそ僕たちがあの日を知り、地元を誇りを持ち、今を生き、これからを担う僕たちが盛り上げていきます。よい時代を創ります。あの日を胸に深く刻み、明日死ぬかもしれない今日を必死で生きます。あれだけ酷いことをした自然が、もうじき桜を咲かせます。夜ノ森の桜の訪れとともに、皆様にも幸せが訪れますようお祈りしています。

(写真:福島民報社提供)



佐藤 由樹広さん

まだ記憶に新しい2年前の3月11日、私は神奈川大学を合格したうえで無事高校も卒業し、4月からの新生活に胸を躍らせていました。その矢先の震災でございました。大学の方から住居の方は確保して頂きましたが、避難所からそれこそ衣服と筆記用具のみを携えて上京した私は、家具の一つも無い布団一つのみが敷かれている寮室において、毎夜押し寄せる孤独感に一人涙しておりました。サークルや学生の団体に入る気力もなかった私は、故郷のニュースに耳を傾けながらも具体的には何も実行することはなく、前期の終盤を迎えました。

故郷を離れる中で初めて実感した望郷の念、そして混乱している中でも大学に送り出してくれた両親の為に自分も神奈川から何かできるのか、そういった思いの中で自分が巡り合ったのがこの応援指導部でございます。

母校の仲間を応援していくということ、そして同郷の仲間と協力していくということは、自分が苦しさを知る上に相手の苦しさを共感できるという気持ちが一番大切だというのは感じております。これからも自分は神奈川大学応援指導部として神大を応援し、故郷富岡を応援していきたいと思っております。(一部抜粋)



箏演奏(鈴木玉喜さん)



ギター弾き語り(林芳典さん)



希望の灯点灯



オープニング(オレンジレンジさん)



ギター演奏(伊藤靖之さん)



日本舞踊(藤富流紫扇会)

第II部 咲くら希望の集い (ステージ発表)

第II部では、遠藤町長と二人の新成人の希望宣言の後、キャンドルジュンさん(キャンドルアーティスト)が制作した町のシンボルの「ろうそく岩」をイメージしたろうそくに、希望への願いを込め、町長が灯をともしました。希望の灯の点灯に参加した子どもたちや工房の研修生の皆さんも町の復興への想いを膨らませました。

ステージ発表では、この日のために集まった富岡町民による歌や踊り、箏やギターの演奏などにぎやかに進められ、その間にも久々に会った人々の会話は懐かしさにあふれ、会場はまるでふるさとに居るような雰囲気になっていました。



チアダンス(富岡高校チアリーダー部)



歌(宇佐見京子さん)



歌(富岡町民有志)



童謡唱歌(富岡町童謡唱歌会 有志)



サプライズゲスト(渡辺俊美さん)



3.11 想う会

いわき平交流サロンにおいて震災から2年の3月11日、「3.11想う会」と称し、「一人ではいたくない」「誰かと一緒にいたいなあ」という方達と一緒に時を過ごしました。みんなで歌い、お弁当を食べ、詩の朗読を聞き、キャンドルを灯し、様々な思いを語り合いました。先の見えない不安、2年間ずっと積み重ねられた重苦しい疲労感。一人ひとりがそれぞれ苦しい時をのりこえ様々な想いを抱えて今を生きている、そのことを改めて感じた一日でした。

思いを語りあう皆さん



泉玉露合同慰霊祭

3月11日(月)いわき市泉玉露仮設住宅で、東日本大震災合同慰霊祭が玉露応急仮設住宅自治会主催で行われました。日頃よりお世話になっている支援団体や法人の皆様にご協力いただき、祭壇にはたくさんの花が飾られました。富岡町からも数名のお坊さんが参加していただき、故人の御霊を弔っていただきました。参列した一人ひとりが祭壇に手をあわせ、津波や避難中に亡くなられた方のご冥福をお祈りしました。

撮影:西山栄



たくさんの皆さんが故人を偲んで...